



みらい

令和5年度 第1号

令和5年6月発行

五十嵐小学校学校運営協議会



五十嵐小学校はコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、3年目となりました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは？

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」をすすめていく仕組みです。

学校運営協議会では、学校運営の基本方針、教育目標、教育ビジョンを共有した上で、目標の実現に向けて教育活動を点検・評価したり、活動の充実に向けて意見するなど協議します。



第1回学校運営協議会が開催されました（令和5年5月12日（金）五十嵐小学校にて）

日諸会長あいさつ

コミュニティ・スクールは、子どもたちのための制度です。それと同時に、私は先生方の応援団になりたいと思っています。先生方や学校が良い雰囲気になると、子どもも良い雰囲気になる。子どもが元気で明るければ保護者や地域も元気になる。そう考えると、先生方を大事にして、応援して、我々ができることを目指していかなければいけないと思います。

委員の方は色々な力をお持ちです。本当の意味で、子ども・先生方・家庭のためになるようなものを検討していく2年間にしたいと思っています。



ン」「大学との連携」「行政・プロとのマッチアップ」です。五十嵐地域の恵まれた環境を活かし、コミュニケーションを大事にしながら楽しい学校を目指していきたいと考えています。

学校運営協議会委員の紹介

- 会長 日諸 博美（元小学校長）
副会長 大野 正也（五十嵐小学校PTA会長）
室崎 泰之（前五十嵐小学校PTA会長）
池田 謙一
（五十嵐中学校区青少年育成協議会副会長）
岩沢 孝金
（五十嵐小学校区コミュニティ協議会会長）
波多 茂美
（五十嵐地区民生委員・児童委員協議会会長）
和田 あづさ
（五十嵐小学校区スポーツ振興会理事長）
鈴木 孝昌（新潟大学工学部教授）
騰川 登志子
（いからしフレンドスクール運営主任）
平野 薫（主任児童委員）
佐藤 志真子（五十嵐ひまわりクラブ第1）
袖山 洋子（五十嵐ひまわりクラブ第2）
三浦 峰子
（五十嵐小学校地域教育コーディネーター）
諸橋 智（五十嵐小学校校長）
大越 亜希子（五十嵐小学校教頭）

諸橋校長より「学校運営方針」について

Team Ikarashi ～温もりあふれる楽しい学校Ⅲ～
子どもたちの笑顔のために

4つのC「Communication：対話」「Cooperation：協同」「Catch：受け止め」「Cheerful：楽しい」を大切に、全ての子どもを守り輝かせる楽しい学校、それが一番大きな目標になります。そして、総合学習の充実と縦割り班のなかよし遠足を柱に、子どもたちの主体性を引き出し、自力で生きていく子どもたちを育てていきたいと強く思っております。

キーワードは「夕日ライ



協議内容はすべて承認されました。詳細については裏面をご覧ください。

(1) 教育ビジョンについて

教育目標 未来を創りだす子ども

目指す子ども像

- 自分のよさを伸ばす子ども
- 友達のよさを認め、高め合う子ども

育む 資質・能力

「未来を創り出す子ども」の実現に向け、地域の「ひと・もの・こと」とかかわりながら、「しなやかな心」を基盤として、「考える力（学びプロジェクト）」「つながる力（かかわりプロジェクト）」「表す力（思いやりプロジェクト）」を関連付けて育てます。



3つのプロジェクトについて各主任から説明がありました。

(2) 「五十嵐の教育を語り合う」(職員とCS委員との情報交換)

職員とCS委員が6グループに分かれて、意見交流をしました。各学年主任がテーマに沿って、今現在どのように進めていこうと考えているかを説明し、それについてCS委員から意見を聞きました。30分の話合いの後に、各グループからの発表を行いました。

学年	テーマ1	テーマ2
1年	低学年として大切にしたいこと	今年度の 全校遠足 について
2年	低学年として大切にしたいこと	
3年	総合学習（地域の魅力）	
4年	総合学習（環境）	
5年	総合学習（福祉）	
6年	総合学習（防災）	



五十嵐地域の魅力・資源をどう学びに活かすか、たくさんの意見が交わされました。



(3) 「地域と学校パートナーシップ事業」について

事業の目指す姿は「学校が元気に、地域が元気に、子どもが元気に」の実現です。ここ数年、ボランティアさんたちから「先生を応援します」「ボランティアが足りなかったら声をかけてください」という前向きな感想をいただくことが増えました。また、先生方がボランティアさんに感謝を伝えてくださる場面や、子どもたちがボランティアさんに「また来てほしい」と声をかけている姿を見る機会が増えました。まさにパートナーシップ事業の目指す姿だと感じています。今年度もゲストティーチャーやボランティアの方々のご協力をお願いすることになります。皆様のご参加をお待ちしております。

(4) 「放課後子どもふれあいスクール」(いからしフレンドスクール) 運営について

いかフレは平成19年7月に開設しました。「子どもの安心・安全な居場所づくり」「地域の大人と子どものふれあい、異年齢の交流」「家庭教育力の活性化」がねらいです。本年度はまた新潟大学学生団体CANsとのコラボで9月の土曜日にドミノを行う予定です。また、コロナ禍で平日は開催できていませんでしたが、学校と相談しながらスタートさせたいと考えております。保護者の方もどうぞ一緒に遊びにいらしてください。